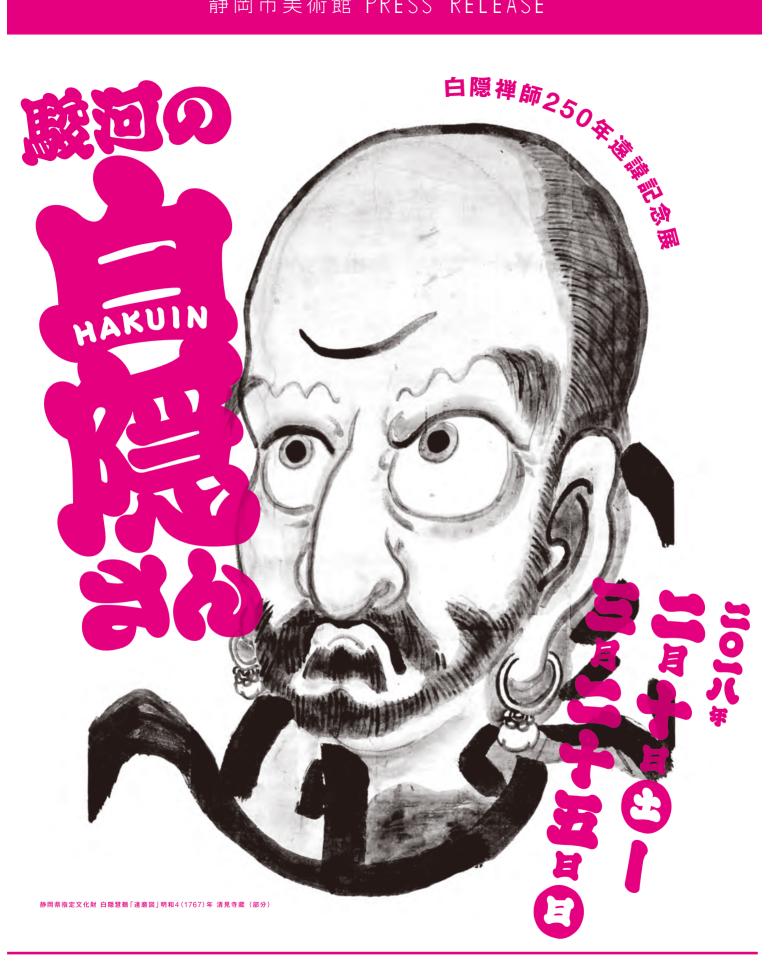
静岡市美術館 PRESS RELEASE



【プレスリリースのお問い合わせ】展覧会担当:吉田・伊藤 広報担当:岩倉・大庭

SHIZ地KA CITY M也SEUM of ART tel. 054-273-1515 (代表) fax. 054-273-1518 www.shizubi.jp



「駿河には過ぎたるものが二つあり、 富士のお山に原の白隠」と称えられた白隠慧鶴(はくいん えかく 1685 ~ 1768) 禅師は、臨済禅の中興の祖で、特に禅の民衆化に努めたことで知られます。

白隠は、江戸時代中期、駿河国原宿(現・静岡県沼津市)の町屋に生まれるも、15歳で出家して原の松蔭寺に入り、諸国を行脚して飯山(現・長野県)で悟りを開き、32歳の時、請われて松蔭寺に帰り、これを復興。晩年は三島の龍澤寺を開山し、松蔭寺で84年の長寿を全うしました。

その間、特に 60 代後半以降(宝暦〜明和期 1751〜72)、達磨や観音、あるいは祖師のほか、様々な恰好の布袋や大黒をはじめとした七福神、 親孝行などを説いた墨蹟や絵画を揮毫しました。宝暦・明和といえば江戸で錦絵が誕生し、京では白隠に参禅した池大雅や伊藤若冲が活躍した時代です。

本展は静岡の寺院や在家居士宅に伝来した白隠の書画を中心に、 約 135 件を一堂に会し、 その画風の 変遷や江戸絵画への影響を探るものです。 江戸時代の社会における白隠、 美術史的側面からみた白隠 を改めて顕彰します。 ご期待ください。

開催要項

はくいん ぜん じ お

白隠禅師250年遠諱記念展 駿河の白隠さん

■開催期間: **2018 年 2 月 10 日** (土) ~ **3 月 25 日**(日) 全 38 日間

■休館日:毎週月曜日、ただし2月12日(月・祝)は開館、翌13日(火)休館

■開館時間:10:00-19:00(展示室入場は閉館30分前まで)

■ 観 覧 料:一般 1,200(1,000)円、大高生・70歳以上 800(600)円、中学生以下無料

*()内は前売および20名以上の団体料金(団体は来館当日に限り購入可能)

*障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

■ 前 売 券: 2017 年 12 月 8 日(金)から 2018 年 2 月 9 日(金)まで以下の箇所にて販売

静岡市美術館、チケットぴあ (P コード 768-734)、ローソンチケット (L コード 41772)、セブンチケット (セブンコード 059-921)、谷島屋 (パルシェ店、マークイズ静岡店)、戸田書店静岡本店、MARUZEN& ジュンク堂書店新静岡店

■ 主 催 等 主催=静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送

後援=静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、臨済宗妙心寺派、白隠宗大本山松蔭寺

助成=芸術文化振興基金、公益財団法人三菱 UFJ 信託地域文化財団

特別協力=佐野美術館

特別協賛=日本ロレックス株式会社

展示構成

第一章 白隠の誕生―伝記をふまえて

第二章 60 代から70 代の行状と画業

第三章 禅を描く

第四章 白隠を支えた人々

第五章 円熟と超越―80代の筆墨

没後すぐに制作された 最晩年の姿。出品決定!

沼津市指定文化財「白隠禅師坐像」 明和6(1769)年 松蔭寺



県内の白隠ゆかりの寺院の所蔵品を中心に

静岡ゆかりの名品が全国から集結!

東は大名・細川家の永青文庫 西は大阪商人・山本發次郎コレクションより



①白隠慧鶴「お坊坐禅」 高林寺蔵 【70代末頃】



②白隠慧鶴「地蔵菩薩像」 宝暦6年4月8日 永青文庫蔵 【72歳】



だいおうこくしちんぞう ③白隠慧鶴「大応国師頂相」 宝暦6年4月8日 永青文庫蔵 【72歳】

高林寺(静岡市駿河区)ゆかりの名宝が一堂に会する初の試み

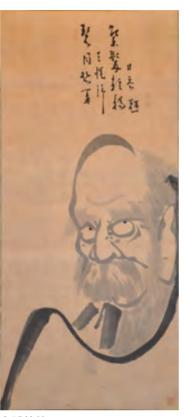
図①: 墨染の衣をまとい、気品に満ちた優しい眼差しの布袋さんが、大きな袋の上に、静かに坐禅を組む。"燭は頭芯を切るとパット明るくなるように、 人の心も根源に向かえば向かうほど明るさを増す。お坊も坐禅をしているではないか"という教えが、端的かつ美しく表現された高林寺所蔵の優品。 大応国師 450 年忌にあたる宝暦 6 年(1756)4 月、白隠は、駿河・高林寺を訪れ、『大応録』を講じた。図③「大応国師頂相」はこの年に描かれたこと、 大応国師も白隠も同じ静岡生まれで縁があることが、画中の自賛「(前略)生縁、安部手越村。宝暦第六丙子佛誕生日、沙羅樹下、白隠叟恵鶴、炷香九拝書」からわかる。図②も款記からこの時揮毫したもので、すらっとした優美な「地蔵菩薩」は異色作。

21年ぶり! 龍津寺(静岡市清水区)の名宝の公開!

ほうじゅごこく たいげんすうふせっさい 白隠は宝暦 5 年 (1755) 2 ~ 4 月、 龍津寺開山宝珠護国禅師 (太原崇孚雪斎) の 200 年遠諱で龍津寺に 滞在。「維摩会」で講義をした。



白隠慧鶴 「開山宝珠護国禅師頂相」 龍津寺蔵 【71歳】



白隠慧鶴 「半身達磨」 龍津寺蔵 【70歳頃】



白隠慧鶴 「維摩図」 大阪新美術館建設準備室 【71歳】

双幅として展示する、 初の機会

「半身達磨」とセットで龍津寺に伝来した



白隠慧鶴「片岡山達磨」宝暦2年(1752)大乗寺蔵 【68歳】

初公開!

ではら 庵原 大乗寺(静岡市清水区)の秘宝

コレもダルマ!

寛延3年(1750)66歳の春、 庵原の大乗寺で 碧巌録会を修め、翌年『碧巌録』を講じた。

本図は聖徳太子が片岡山(奈良)で会った乞食 姿の達磨。大乗寺5世住山に際し、 宝暦2年 (1752)描き贈られた。

白隠を美術史的に解明!

例えば、白隠の得意な達磨はこんな風に変化します・・・

- 30代の達磨は、髪の毛ぼうぼう、60代末から70代初めは頭がとんがっていますが、
- 80歳になると、頭が大きくまるまるとして、目も大きくみひらき、どーんとした白隠の達磨に!



【35歳】 半身達磨 個人蔵 白隠の遺墨の中で 最も早い作品



【50歳前後】 福地山修禅寺蔵 洞窟の中の達磨



【66歳頃】 半身達磨 貞永寺蔵



【83歳】 清見寺蔵 最晩年の半身達磨

松蔭寺の達磨の如き自画像は 弟子・東嶺が受け継いだ



必見!大幅「蛤蜊観音像」を約 **40** 年ぶりに展示!



161.2 cm

白隠慧鶴「蛤蜊観音」禅叢寺蔵(60後半~70歳頃)

カラリスト白隠!

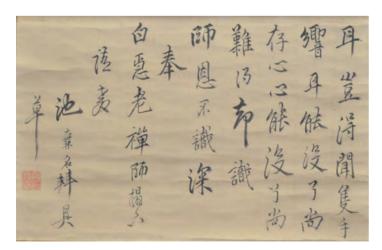




左: 白隠慧鶴 自画賛「関羽」 宝暦3(1753) 松蔭寺蔵 【69歳】 元は在家居士宅の端午の節句の旗 として制作された巨大な作品

右: 白隠慧鶴 「大黒天」 個人蔵 【70歳末~80歳頃】

日本文人画の大成者でカラリストとされる池大雅は 白隠の弟子だった!



池大雅「入門偈」個人蔵 大雅 29歳にして、白隠(67歳)に入門!

池大雅「杯渡図」田部美術館蔵 白隠禅画ばりの作風。 賛には

「駿の小坊子が、みだりに賛せんを惜しみ、其の名を題し、葦津和尚に奉る」とあり、白隠の高弟、葦津和尚が師・白隠をおもんぱかってか、 賛を躊躇したので、大雅が自賛したのだ、と戯れに書いている。



新発見!初公開!作品がたくさん!

新発見!



白隠慧鶴自画賛 「出山釈迦図」 享保前期(1716-25)頃 貞永寺蔵 【40代】



白隠慧鶴自画賛 「岩上達磨図」 元文-寛保(1736-43)頃 修禅寺蔵 【50代】



白隠慧鶴自画賛 「蓮池観音図」 宝暦1(1751)年頃 個人蔵 【67歳】



白隠慧鶴筆 「墨蹟「南無阿弥陀仏」」 宝暦1(1751)年頃 個人蔵 【67歳】

貞永寺のある掛川市以外では

初公開



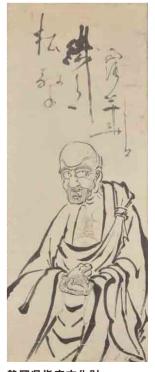
静岡県指定文化財 白隠慧鶴自画賛 「楊柳観音図」 寛延3(1750)年頃 貞永寺蔵 【66歳】



静岡県指定文化財 白隠慧鶴自画賛 「百丈禅師像」 寛延3(1750)年頃 貞永寺蔵 【66歳】



静岡県指定文化財 白隠慧鶴自画賛 「達磨図」 寛延3(1750)年頃 貞永寺蔵 【66歳】



静岡県指定文化財 白隠慧鶴自画賛 「臨済像」 寛延3(1750)年頃 貞永寺蔵 【66歳】

初公開

これまでは研究者や限られた人しか観られなかった!







左より

白隠慧鶴自画賛 「龍頭観音図」 宝暦前期(1751-56)頃 個人蔵 【70代前半】

白隠慧鶴筆 「楊柳観音図」 宝暦前期(1751-56)頃 大乗寺 【70代前半】

白隠慧鶴自画賛 「関山慧玄像」 宝暦13(1763)年 新定院蔵 【79歳】

左:

白隠慧鶴自画賛「片岡山達磨図」 宝暦2(1752)年 大乗寺蔵 【68歳】

右:

白隠慧鶴自画賛「熊谷蓮生坊図」 宝暦前期(1751-54)頃 個人蔵 【70代前半】





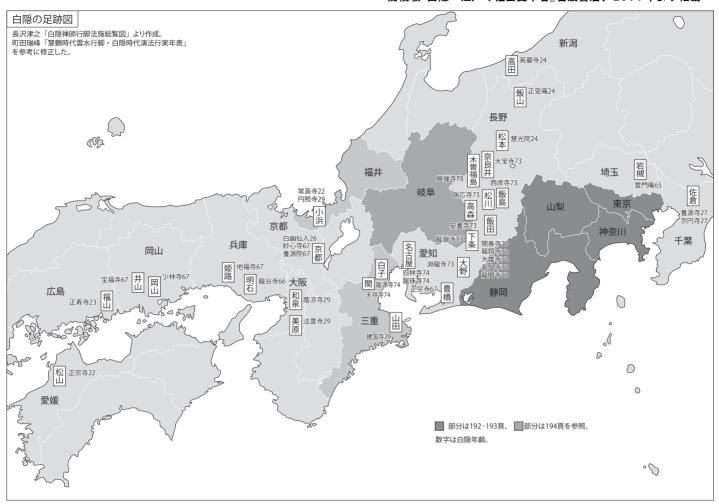
★臨済宗妙心寺派、白隠宗松蔭寺の後援!

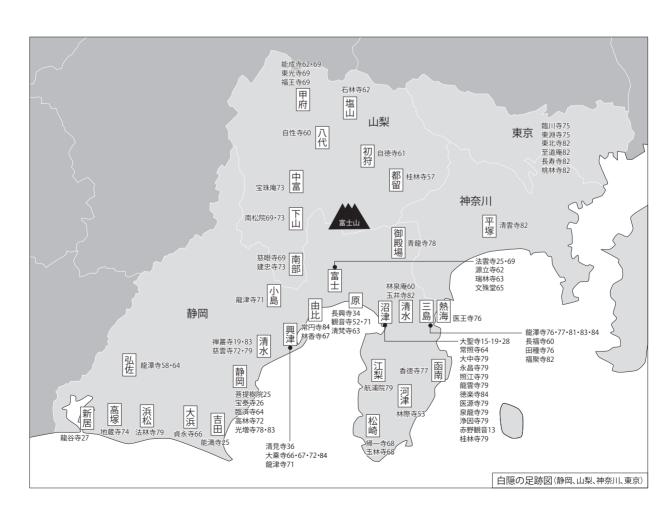
白隠ゆかりの地 静岡ならではの展覧会!

- ★白隠とその弟子(在家居士)と江戸時代絵画の巨匠たちの関係を明らかにし、 禅僧白隠が、江戸時代絵画に及ぼした影響を探ります。
- ★美術史的アプローチからの 初の展覧会といっても過言ではありません。
- ★白隠禅師 250 年遠諱だからこそ実現した 史上最大級の白隠展!



高橋敏『白隠 江戸の社会変革者』岩波書店、2014年より転載







講演会「白隠さん大好き」

白隠愛好家のブルース・R・ベイリー氏による講演会です。 氏と白隠作品との出会いや、氏が尊敬する哲学者・ウィトゲンシュタイン と白隠との共通点"言葉を超えた表現"についてお話しいただきます。

日時:2月10日(土)14:00~15:00(開場13:30)

講師:ブルース·R·ベイリー氏(日本ロレックス株式会社代表取締役社長)

聞き手:吉田恵理(当館学芸員)

会場: 当館多目的室 参加料: 無料 定員: 70名

申込締切:1月26日(金)



法話「白隠禅師と民衆教化」

書画を用いて、誰にでも分かりやすく親しみやすい「禅」の心を説いた白隠禅師。一説にその数、現存するもので五千点、実際描いたのは一万点ともいわれます。白隠が最初に住職になり、84 年の長寿をとじた、静岡県沼津市原の松蔭寺の現住職・宮本圓明老師をお招きし、白隠の教えについてお話しいただきます。

日時:2月17日(土)14:00~15:30(開場13:30)

講師:宮本圓明老大師(松蔭寺住職)

会場: 当館多目的室 参加料: 無料 定員: 70名

申込締切:2月2日(金)



講演会「白隠 江戸社会の変革者」

臨済宗中興の祖といわれる白隠は、駿河小島藩 (現:静岡市清水区小島) の惣百姓一揆を無血で終了させるなど、庶民のために活動し、時に激烈に幕府・藩政を批判しました。

本講演会では、国立歴史民俗博物館名誉教授の高橋敏氏を講師に迎え、江戸時代中期の東海道という活動の舞台、白隠を支えた人々をも踏まえて初めて見えてくる、時代の申し子・白隠の姿をご講義いただきます。

日時:2月25日(日)14:00~15:30(開場13:30)

講師:高橋敏氏(国立歴史民俗博物館名誉教授) 会場:当館多目的室 参加料:無料 定員:70名

申込締切:2月9日(金)



座談会「白隠の絵をとことん語る」

禅画は難しい、どうみたらいいのか、わからない、と思っていませんか。 白隠はどのように描いたのか、何を描いたのか、白隠画を細部までじっく りみることで、色々なことが見えてきます。

永年、学芸員としてまた研究者として白隠画をみつめてきた浅井氏、矢島 氏とともに白隠画の魅力を語り合いましょう。

日時:3月4日(日)14:00~16:00(開場13:30)

講師:浅井京子氏(元早稲田大学會津八一記念博物館特任教授)、

矢島新氏(跡見学園女子大学教授)

司会:吉田恵理(当館学芸員) 会場:当館多目的室

参加料:無料 定員:70名 申込締切:2月16日(金)

五

学芸員によるギャラリートーク

日時:2月12日(月·祝)、3月17日(土)

いずれも14:00~(30分程度)

参加料:無料(要観覧券)、申込不要(当日受付前にお集まりください)



え しずびオープンアトリエ

日時:2月17日(土)~3月25日(日) の毎调十・日曜日

いずれも①13:30~ ②15:00~(各回1時間程度) 対象: 小学生以上 各回15名(申込不要·当日先着順)

会場:当館ワークショップ室

参加料:200円(受付でチケットご購入の上、会場へ)



プ しずびチビッこプログラム

日時:3月21日(水·祝)

110:30~12:00 214:00~15:30

対象: 2歳以上の未就学児各10名 会場: 当館ワークショップ室 参加料: 子ども1名につき500円(保護者の方は要観覧券)

申込締切:3月2日(金)必着

※申込方法詳細は当館HPを御覧ください。

🛥・🎎・🂆・🔟 申込み方法

静岡市美術館ホームページ申込フォームまたは往復はがきにて、 1件につき4名様までお申込可能。

往復はがき記載事項 ①催事名、催事日 ②氏名(参加人数分)

③年齢 ④住所(郵便番号から) ⑤電話番号

返信面に宛先を記入の上、静岡市美術館まで。

※応募者多数の場合は抽選。抽選の如何にかかわらず 結果は通知いたします。

> 佐野美術館では 画題に注目!

駿河の白隠さん

5月26日(土)~7月1日(日)

会場: 佐野美術館(静岡県三島市) tel 055-975-7278 ※本展チケット半券で、さのびの白隠展が2割引!





静岡市美術館 SHIZWOKA CITY MWSEUM of ART



- 電 車 ◆ JR静岡駅北口より地下道を利用して徒歩3分 静岡鉄道新静岡駅より徒歩5分
- 新幹線 東京駅・名古屋駅から 東海道新幹線ひかり号で約1時間 新大阪駅から東海道新幹線ひかり号で約2時間
- 車 東名静岡ICより約15分 ※お車でお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。
- 空 路 富士山静岡空港より 静鉄バス(静岡エアポートライナー)で約1時間

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1葵タワー3F tel. 054-273-1515 (代表) fax. 054-273-1518 www.shizubi.jp